

仕合わせの和



第250号

令和5年1. 1
(毎月1日発行)



明けまして

おめでとう

御座います。

本年もどうぞ

よろしくお願い

申し上げます。

任職 谷川寛俊



私達は普段「これではいけない」と思っても、自分が生み出した不平不満で苦しみます。恵まれた環境になって一時満足したとしても、やがてさらに上を求めたくなります。

お釈迦様はインドのカピラ城の王子としてお生まれになり、何の不自由なく恵まれた環境で育ちましたが、それでも悟りを得るまで苦しみから逃れることが出来ませんでした。苦しみとどう向き合い、なくしていくかが仏教の原点だと言えます。

お釈迦様が亡くなられてかなりの時間が経過しても、お釈迦様の教えを元とし、新たなお経が数多く作られました。時代時代の人達が、必死に自分自身、そして自らの苦しみと向き合い光を見出してこられました。その教えが、私たちの力にならないはずがありません。「行学二道」という言葉があります。

真成寺ホームページ



玉蓮山 真成寺

編集部 谷川久仁子

TEL・FAX 0765-22-2268

携帯 080-3744-2523

こちらの番号でも
お寺につながります。

私が幸せでありますように

私の悩み苦しみがなくなりますように

私の願うことが叶えられますように

私の悟りの光があらわれますように

私の親しい人々が幸せでありますように

私の親しい人々の悩み苦しみが

なくなりますように

私の親しい人々の願うことが

叶えられますように

私の親しい人々に悟りの光が

あらわれますように

生きとし生けるものが幸せであります

ように

生きとし生けるものの悩み苦しみが

なくなりますように

生きとし生けるものの願うことが

叶えられますように

生きとし生けるものの悟りの光が

あらわれますように

すべての人々が幸せでありますように

すべての人々が幸せでありますように

すべての人々が幸せでありますように

口で唱えても、心の中で唱えても

構いません。又、場所も選びません。

どこにいても一日一回唱える習慣は

幸せを生みます。

今年も自利利他の心で、皆様も是非
実践してみてください。